

岩手県教職員組合カリキュラム検討委員会からの提言 「学校あるある」を見直す ③

学校の中の隠れたカリキュラム

小学校一年生のある学級では・・・

「起立」の号令で、一秒で立たないと全員でやり直し これって学習規律なの？

カリキュラム検討委員から

学習規律の名のもとに、理不尽な要求を子どもたちに求めていることがあります。

「一秒」の根拠はどこにあるのでしょうか？もし、学習規律と言うなら、学校としての合意と根拠があって然るべきです。子どもたちに対して、従順に先生の言うことに従うことを求めているのであれば、「先生の言うことは、絶対なのです、権力のあるものに対しては服従するのです」という刷り込みを毎日行っていることにつながります。教職員の無意識・無自覚な行動が子どもたちに、ある価値観や知識を伝えていることとなります。私たち教職員は、「学校スタンダード」や「学習規律」が『子どもの権利条約』を無視した隠れたカリキュラムになっていないかを振り返る必要があります。



さらに、考えたいこと

最近の小学校入学説明会では、「入学までに身に付けたいこと」等として、入学前の子どもに「できなければならないこと」を強制している傾向があるようです。

- 例) ・衣服の着脱を自分で素早くできるようにする。
- ・ハンカチとちり紙を自分で用意して、毎日身に付けることができる。
- ・自分の名前が読めるように、そして書けるようにしましょう。



「できていない子」と「できている子」に単純にわけてしまい、早い段階からできていない子を区別したり、差別したりする排除の空気を充満させるような学級、学校にすることがないようにしていきましょう。分けないための変更・調整が合理的配慮です。本人、保護者の意見も聞きながら、子どもたちにとって居心地の良い場所にするために、必要に応じた合理的配慮について学校全体で取り組んでいきたいものです。